

## 元教員のSDGs活動報告

客員研究員 土井隆司



2016年に本学のNew Statement“世界の幸せをカタチにする”に出会い6年経過しました。2020年定年退職後のライフシフトの軸になりその手段としてSDGs活動を継続しています。活動の一端を報告させていただきます。学内：「武蔵野大学SDGsアワード」2018年から継続していて西本学長先生、しあわせ研究所教授加藤久美先生と共に、受賞者審査に参加し2021年度の受賞者が決定しました。

「武蔵野大学社会人講座」は3年目に入り主にライフシフトを検討されている方々を対象に拙著「SDGs 大国ニッポンになろう！」を副読本にして今年は「食品ロス」を取り上げます。

学外：「西東京市総合計画策定審議会」が2021年に発足し本学学生部長・工学部教授伊藤泰彦先生が会長で他の10名の委員と

共に参画しています。同市の10年計画にSDGsを反映する事業です。地元の浦安市では“市長のSDGs実行宣言”を提案し市行政に働きかけて過去3回の市議会で審議頂いています。浦安市国際交流協会では35周年を迎える今年、「総務部会SDGs推進チーム」を発足し、ボランティア活動を推進中です。「ウラジオストク日本センター」ではZOOMでのSDGs研修を開始しました。昨年は、地元の社会人対象に行い、今年は高校生・大学生対象に予定されていましたが眼下の情勢を鑑みて中止になりました。その他「自宅近隣公園整備活動」や、毎朝のウォーキング中にごみ拾いを継続しています。ごみ拾いをしながら何故ポイ捨てするのかを考え、この活動がSDGsの一環で“世界の幸せをカタチにする”活動だと思えば“継続は力なり”のことわざが思い出されてSDGs11「住み続けられる街づくり」に役立っている実感を覚えて毎朝幸せな気持ちになっています。皆さんと共にこれからも“世界の幸せをカタチにする”一員として活動を継続してまいります。

### 令和3年度 Musashino SDGs Award 受賞者一覧

区分	応募者名	所属	取り組み内容	SDGsアジェンダ
最優秀賞	中板 育美 (ナカイト イクミ)	看護学科教授	看護学生が中心となり、「健幸アンバサダー」として、包括的教育に関する一般向けパンフレットを作成し、全国に発信	3.すべての人に健康と福祉を 5.ジェンダー平等を実現しよう
優秀賞	藤田 颯斗 (フジタ ハヤト)	教育学科3年	西東京市保谷公民館主催 人権講座の運営 内容：子どもの権利を考える	10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを
奨励賞	岡田 奈那美 (オカダ ナナミ)	社会福祉学科2年	武蔵野大学フェアトレードプロジェクト 株式会社エムユービジネスサポート ご協力のもと、一般社団法人 わからあいプロジェクト から商品の仕入れをし、大学の生協で1ヶ月間にわたりフェアトレード商品販売を行った。 また、アンケート調査を実施し、学生のフェアトレードに対する関心度を高めた。	1.貧困をなくそう / 2.飢餓をゼロに / 4.質の高い教育をみんなに 5.ジェンダー平等を実現しよう / 8.働きがいも経済成長も 12.つくる責任 つかう責任 / 13.気候変動に具体的な対策を 16.平和と公正をすべての人に / 17.パートナーシップで目標を達成しよう
奨励賞	加藤 慎策 (カトウ シンサク)	環境システム学科3年	大学内の給水機導入による気候変動問題・プラスチックごみ問題に対する環境負荷削減と意識向上 Reduction and awareness of climate change and plastic waste problems by introducing water supply machines in universities	4.質の高い教育をみんなに 12.つくる責任 つかう責任 13.気候変動に具体的な対策を 14.海の豊かさを守ろう

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University Creating Happiness Incubation

武蔵野大学しあわせ研究所

電話：03-5530-7730

東京都江東区有明3-3-3

メール：mhi@musashino-u.ac.jp